# 【表紙】

【提出書類】 有価証券届出書の訂正届出書

【提出日】 平成23年8月1日

【会社名】 東海観光株式会社

【英訳名】 TOKAI KANKO CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 ホーン・チョン・タ

【本店の所在の場所】 東京都港区高輪二丁目16番45号

【電話番号】 東京03 (5488) 1010 (代表)

【事務連絡者氏名】 財務経理管掌取締役 宍戸 佐太郎

【最寄りの連絡場所】 東京都港区高輪二丁目16番45号

【電話番号】 東京03 (5488) 1010 (代表)

【事務連絡者氏名】 財務経理管掌取締役 宍戸 佐太郎

【届出の対象とした募集有価証券の種類】 株式

【届出の対象とした募集金額】 その他の者に対する割当 1,421,972,448円

【安定操作に関する事項】 該当なし

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所

(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

# 1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

平成23年7月20日付で提出いたしました有価証券届出書の記載事項のうち、「第一部 証券情報 第1 募集要項 4 新規発行による手取金の使途 (2)手取金の使途」、「第一部 証券情報 第3 第三者割当の場合の特記事項 1 割当予定先の状況 c.割当予定先の選定理由」、及び「第一部 証券情報 第3 第三者割当の場合の特記事項 5 第三者割当後の大株主の状況」に訂正すべき事項が生じたこと、並びに「第三部 追完情報」に追加すべき事項(最近の業績の概要)があったことから、当該記載事項の内容の一部の訂正を行うため、有価証券届出書の訂正届出書を提出するものであります。

# 2【訂正事項】

第一部 【証券情報】

- 第1【募集要項】
  - 4【新規発行による手取金の使途】
    - (2)【手取金の使途】
- 第3【第三者割当の場合の特記事項】
  - 1【割当予定先の状況】
    - c. 割当予定先の選定理由
      - (a)資金調達の目的及び理由
        - .ホテル資産保有ファンドの組成・資金拠出
        - . 守口ロイヤルパインズホテルの取得
  - 5【第三者割当後の大株主の状況】

第三部【追完情報】

# 3【訂正箇所】

訂正箇所は\_を付して表示しております。

### 第一部 【証券情報】

#### 第1【募集要項】

- 4【新規発行による手取金の使途】
- (2)【手取金の使途】

訂正前)

_( 前) 正則 /		
具体的な使途	金額(円)	支出予定時期
ホテル資産の取得のための不動産保有特別目的 会社に対する匿名組合出資	1,350,000,000	平成23年9月1日以降 平成23年9月30日までの期間
株式会社アゴーラ・ホスピタリティーズが第三 者割当により発行する新株予約権付社債の払込 み	50,000,000	平成23年9月1日
ホテル資産保有ファンドの組成、株式会社アゴーラ・ホスピタリティーズとの資本提携、守口ロイヤルパインズホテルの取得のための費用	<u>11,971,448</u>	平成23年8月31日

(後略)

#### (訂正後)

<u>( n = k )                                </u>		
具体的な使途	金額(円)	支出予定時期
ホテル資産の取得のための不動産保有特別目的 会社に対する匿名組合出資	1,350,000,000	平成23年9月1日以降 平成23年9月30日までの期間
株式会社アゴーラ・ホスピタリティーズが第三 者割当により発行する新株予約権付社債の払込 み	50,000,000	平成23年9月1日
ホテル資産保有ファンドの組成、株式会社アゴー ラ・ホスピタリティーズとの資本提携、守口ロイ ヤルパインズホテルの取得のための費用	11,972,448	平成23年8月31日

(後略)

#### 第3【第三者割当の場合の特記事項】

- 1【割当予定先の状況】
  - c. 割当予定先の選定理由
    - (a)資金調達の目的及び理由
      - .ホテル資産保有ファンドの組成・資金拠出

#### (訂正前)

前記 .に述べたホテル事業の拡充にあたり、ホテル資産を取得・保有する仕組みについては、まず、本第三者割当増資の実質的な割当予定先であるファンド2008及び当社の取締役であるデビッド・チュウが、ホテル資産を間接的に取得・保有するための特別目的会社(以下「ギャラクシー合同会社(仮称)」といいます。)を組成するとともに、今後に取得する個別のホテルごとに、ホテル資産を直接に取得・保有するための特別目的会社(以下「個別ホテル資産保有SPC」といいます。)を組成します。

そして、当社は、ファンド2008及びデビッド・チュウが共同して出資する別途の特別目的会社(以下「ファンド2008等共同出資SPC」といいます。)とともに、ギャラクシー合同会社(仮称)に対して匿名組合出資をし、ギャラクシー合同会社(仮称)は、個別ホテル資産保有SPCに対して匿名組合出資をいたします。ギャラクシー合同会社(仮称)に対する匿名組合出資の規模は総額6,750,000,000円を予定しており、当社は匿名組合出資総額の20%に相当する1,350,000,000円の出資を、ファンド2008等共同出資SPCは匿名組合出資総額の80%に相当する5,400,000,000円の出資を、それぞれ予定しております。

ギャラクシー合同会社(仮称)に対する当社の匿名出資割合を20%とする理由につきましては、当社の経営するホテルに係るホテル資産の賃料からも当社が一定の収益を確保しようという当社の事業戦略によるほか、本第三者割当増資の実質的な割当予定先でかつギャラクシー合同会社(仮称)に対する間接的な匿名組合出資者となるファンド2008の投資戦略、及び当社の親会社であり支配株主であるファー・イースト・グローバル・アジア・リミテッド(以下「ファー・イースト・リミテッド」といいます。)の経営戦略をも考慮したものですので、後記(c)も御参照ください。

なお、ギャラクシー合同会社(仮称)との間の匿名組合契約は、現在交渉中の段階にあり、平成23年8月31日までには締結する予定です。

今後は、後述する守口ロイヤルパインズ合同会社(仮称)などの個別ホテル資産保有SPC(ホテル資産が不動産信託 受益権の場合は信託受託者)が、当社又は後記 に述べる株式会社アゴーラ・ホテルマネジメント大阪(仮称)などの 当社子会社にホテル資産を賃貸し、個別ホテル資産保有SPCの賃料収入による収益が、ギャラクシー合同会社(仮称)に 分配され、ギャラクシー合同会社(仮称)の収益が、ファンド2008等共同出資SPC及び当社に分配されることになりま す。

すなわち、守口ロイヤルパインズ合同会社やその他のホテルごとに組成されるSPCが、賃借料収入から得た利益を、ギャラクシー合同会社に分配し、ギャラクシー合同会社が、匿名組合出資割合に応じて、F2008・DC共同出資SPCと当社に分配することになります。利益分配の割合については、現在も交渉中の段階にあります。

(後略)

#### (訂正後)

前記 .に述べたホテル事業の拡充にあたり、ホテル資産を取得・保有する仕組みについては、まず、本第三者割当増資の実質的な割当予定先であるファンド2008及び当社の取締役であるデビッド・チュウが、ホテル資産を間接的に取得・保有するための特別目的会社(以下「ギャラクシー合同会社(仮称)」といいます。)を組成するとともに、今後に取得する個別のホテルごとに、ホテル資産を直接に取得・保有するための特別目的会社(以下「個別ホテル資産保有SPC」といいます。)を組成します。

そして、当社は、ファンド2008及びデビッド・チュウが共同して出資する別途の特別目的会社(以下「ファンド2008 等共同出資SPC」といいます。)とともに、ギャラクシー合同会社(仮称)に対して匿名組合出資をし、ギャラクシー合同会社(仮称)は、個別ホテル資産保有SPCに対して匿名組合出資をいたします。ギャラクシー合同会社(仮称)に対する匿名組合出資の規模は総額6,750,000,000円を予定しており、当社は匿名組合出資総額の20%に相当する1,350,000,000円の出資を、ファンド2008等共同出資SPCは匿名組合出資総額の80%に相当する5,400,000,000円の出資を、それぞれ予定しております。

ギャラクシー合同会社(仮称)に対する当社の匿名出資割合を20%とする理由につきましては、当社の経営するホテルに係るホテル資産の賃料からも当社が一定の収益を確保しようという当社の事業戦略によるほか、本第三者割当増資の実質的な割当予定先でかつギャラクシー合同会社(仮称)に対する間接的な匿名組合出資者となるファンド2008の投資戦略、及び当社の親会社であり支配株主であるファー・イースト・グローバル・アジア・リミテッド(以下「ファー・イースト・リミテッド」といいます。)の経営戦略をも考慮したものですので、後記(c)も御参照ください。

なお、ギャラクシー合同会社(仮称)との間の匿名組合契約は、現在交渉中の段階にあり、平成23年8月31日までには締結する予定です。

今後は、後述する守口ロイヤルパインズ合同会社(仮称)などの個別ホテル資産保有SPC(ホテル資産が不動産信託受益権の場合は信託受託者)が、当社又は後記 に述べる株式会社アゴーラ・ホテルマネジメント大阪(仮称)などの当社子会社にホテル資産を賃貸し、個別ホテル資産保有SPCの賃料収入による収益が、ギャラクシー合同会社(仮称)に分配され、ギャラクシー合同会社(仮称)の収益が、ファンド2008等共同出資SPC及び当社に分配されることになります。

すなわち、守口ロイヤルパインズ合同会社やその他のホテルごとに組成されるSPCが、賃借料収入から得た利益を、ギャラクシー合同会社に分配し、ギャラクシー合同会社が、匿名組合出資割合に応じて、ファンド2008等共同出資SPCと当社に分配することになります。利益分配の割合については、現在も交渉中の段階にあります。

(後略)

#### 第3【第三者割当の場合の特記事項】

- 1【割当予定先の状況】
  - c.割当予定先の選定理由
    - (a)資金調達の目的及び理由
      - . 守口ロイヤルパインズホテルの取得

#### (訂正前)

(前略)

なお、当社は、守口ロイヤルパインズホテルのほかにも、すでに複数の具体的なホテルについて、当社又はその子会社においてホテル事業を取得し、個別ホテル資産保有SPCにおいてホテル資産<u>をに</u>取得させるため、具体的な準備、交渉を進めております。

#### (訂正後)

(前略)

なお、当社は、守口ロイヤルパインズホテルのほかにも、すでに複数の具体的なホテルについて、当社又はその子会社においてホテル事業を取得し、個別ホテル資産保有SPCにおいてホテル資産を取得させるため、具体的な準備、交渉を進めております。

# 第3【第三者割当の場合の特記事項】 5【第三者割当後の大株主の状況】

(訂正前)

(計上則)		
上段:氏名又は名称	割当前	割当後
	上段:所有株式	じ数(千株)
下段:住所	下段:(議決権	
ファー・イースト・グローバル・アジア・リミテッド	,	` ,,
(常任代理人 ホーン・チョン・タ)		
3rd Floor, One Capital Place, Shedden Road, George Town,	110,683	110,683
Grand Cayman, Cayman Islands, British West Indies	(50.59)	(40.48)
(東京都港区高輪二丁目16番45号)		
アルファ・コンセプト・インベストメント・リミテッド		54,691
Suites 2701-03, One Exchange Square, Central, Hong Kong	( )	(20.00)
ファー・イースト・グローバル・アジア株式会社	30,000	30,000
東京都港区高輪二丁目16番45号	(13.71)	(10.97)
ソシエテジェネラルバンクアンドトラストシンガポールカストア	(10.71)	(10.01)
セットメインアカウントスクリプレス		
(常任代理人香港上海銀行東京支店)	5,876	5,876
One Raffles Quay 35-01 North Tower. Singapore 048583	(2.69)	(2.15)
(東京都中央区日本橋三丁目11番1号)		
有地壽雄	1,490	1,490
神戸市兵庫区	(0.68)	(0.54)
シービーホンコンケージーアイアジアリミテッド - セグレゲイテッ	( /	( /
ドアカウント		
(常任代理人シティバンク銀行株式会社)	800	800
27/F Asia Pacific Finance Tower, Citibank Plaza, 3 Garden	(0.37)	(0.29)
Road, Hong Kong	, ,	`
(東京都品川区東品川二丁目3番14号)		
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口6)	638	638
東京都中央区晴海一丁目8-11	(0.29)	(0.23)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口3)	636	636
東京都中央区晴海一丁目8-11	(0.29)	(0.23)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口2)	557	557
東京都中央区晴海一丁目8-11	(0.25)	(0.20)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口8)	509	509
東京都中央区晴海一丁目8-11	(0.23)	(0.19)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	506	506
東京都中央区晴海一丁目8-11	(0.23)	(0.19)
	151,695	206,386
計	(69.34)	(75.47)
(注) 4 详述按数别会计 W详述按数点分支,在专样选择数点到会态:		

- (注)1.議決権数割合は、総議決権数に対する所有議決権数の割合であり、小数第三位を四捨五入しております。
  - 2.新株式発行後の総議決権数に対する所有議決権数の割合は、本新株式発行後の総議決権数273,456個に対する割合です。
  - 3.今回の割当予定先以外の株主(新株式発行前からの株主)の議決権数に対する所有議決権数の割合については、平成22年12月31日より保有株式数に変更がないとの前提で計算したものであります。
  - 4. 日本トラスティ・サービス信託銀行㈱の株式数2,220千株は信託業務にかかる株式であります。

# (訂正後)

<u>(訂正後<i>)</i></u>		
	割当前	割当後
上段:氏名又は名称	上段:所有株式数(千株)	
下段:住所	下段:(議決権	
ファー・イースト・グローバル・アジア・リミテッド	1 124 ( 1340 112	( ' / / /
(常任代理人 ホーン・チョン・タ)		
3rd Floor, One Capital Place, Shedden Road, George Town,	110,683	
Grand Cayman, Cayman Islands, British West Indies	(50.59)	(40.48)
(東京都港区高輪二丁目16番45号)		
アルファ・コンセプト・インベストメント・リミテッド		54,691
Suites 2701-03, One Exchange Square, Central, Hong Kong	( )	(20.00)
ファー・イースト・グローバル・アジア株式会社	30,000	30,000
東京都港区高輪二丁目16番45号	(13.71)	(10.97)
大水町/尼区同報	(13.71)	(10.91)
フッエノッエネフルバンッテンドドンスドッフカホールカスドテ   セットメインアカウントスクリプレス		
ビッドスインアカランドスグラフレス   (常任代理人香港上海銀行東京支店)	5,876	5,876
One Raffles Quay 35-01 North Tower. Singapore 048583	(2.69)	(2.15)
(東京都中央区日本橋三丁目11番1号)		
有地壽雄	1 100	1 100
神戸市兵庫区	1,490 (0.68)	1,490 (0.54)
シービーホンコンケージーアイアジアリミテッド - セグレゲイテッ	(0.00)	(0.54)
シーヒーホンコンケーシーディアンデザミナッド・ビッレディナッ     ドアカウント		
「デカランド   (常任代理人シティバンク銀行株式会社)	800	800
27/F Asia Pacific Finance Tower, Citibank Plaza, 3 Garden	(0.37)	(0.29)
Road, Hong Kong	(0.57)	(0.29)
(東京都品川区東品川二丁目3番14号)		
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口6)	638	638
東京都中央区晴海一丁目8-11	(0.29)	(0.23)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口3)	636	636
東京都中央区晴海一丁目8-11	(0.29)	(0.23)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口2)	557	557
東京都中央区晴海一丁目8-11	(0.25)	(0.20)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口8)	509	509
東京都中央区晴海一丁目8-11	(0.23)	(0.19)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	506	506
東京都中央区晴海一丁目8-11	(0.23)	(0.19)
	151,695	206,386
計	(69.34)	(75.47)

- (注)1.議決権数割合は、総議決権数に対する所有議決権数の割合であり、小数第三位を四捨五入しております。
  - 2.新株式発行後の総議決権数に対する所有議決権数の割合は、本新株式発行後の総議決権数273,456個に対する割合で す
  - 3.今回の割当予定先以外の株主(新株式発行前からの株主)の議決権数に対する所有議決権数の割合については、平成22年12月31日より保有株式数に変更がないとの前提で計算したものであります。
  - 4. 日本トラスティ・サービス信託銀行㈱の株式数2.846千株は信託業務にかかる株式であります。

## 第三部【追完情報】

(訂正前)

1.臨時報告書の提出について (省略)

2.事業等のリスクについて (省略)

(訂正後)

1.臨時報告書の提出について (省略)

2.事業等のリスクについて (省略)

# 3.最近の業績の概要

第74期第2四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)の業績の概要

第74期第2四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)における業績の見込みは以下のとおりであります。なお下記の数値については決算処理確定前の暫定数値であり変動する可能性があります。また、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査法人の監査も終了しておりません。

下記以外の指標につきましては、現時点で算出することは困難であり、記載を行うことによって投資家の皆様の判断を誤ら せる恐れがあるため記載しておりません。

<u>会計期間</u>	<u>第73期第2四半期</u> <u>連結累計期間</u> <u>自平成22年1月1日</u> 至平成22年6月30日	第74期第2 <u>四半期</u> 連結累計期間 自平成23年1月1日 至平成23年6月30日
<u>連結売上高(百万円)</u>	<u>525</u>	<u>507</u>
連結営業損益(百万円)	<u>115</u>	<u>73</u>
<u>連結経常損益(百万円)</u>	<u>150</u>	<u>66</u>
<u>連結純損益(百万円)</u>	<u>161</u>	<u>75</u>
<u>連結純資産額(百万円)</u>	<u>12,910</u>	<u>12,921</u>
連結総資産額(百万円)	<u>16,171</u>	<u>16,048</u>

以上